

英米文化学会会報

第 43 号

平成 12 年 5 月 16 日版



第 18 回大会会場 盛岡大学

目次

- ◆英米文化学会第 103 回例会および臨時総会開催のお知らせ
- ◆例会発表要旨
- ◆第 18 回大会のお知らせ
- ◆事務局からのお知らせ

◆英米文化学会第 103 回例会および臨時総会開催のお知らせ

標記の例会と総会を下記の要領で開催しますので万障お繰り合わせの上ご出席ください。

開催月日：平成 12 年 6 月 10 日（土）

15:00-17:00 研究発表（受付 14:30-）

17:00-17:30 総 会

場所：日本大学歯学部 3 号館 2 階第 5 講堂（御茶ノ水ニコライ堂隣）本号末尾に地図掲載

懇親会：18:00- 当日申込可能

◆研究発表タイトルと司会者

1. トマス・ハーディーと D.H. ロレンスの詩における文法、語彙分析及び解釈
鈴木 理枝 (MLS モデル・ランゲージ・スタジオ講師)
司会 相良 英明 (鶴見大学)
2. 教材のマルチメディア化の試み
---語彙自習プログラムの開発---
伊東 田恵 (豊田工業大学)
司会 木村 みどり (青山学院大学)

◆第103回例会研究発表レジメ

1. トマス・ハーデーとD. H. ロレンスの詩における文法、語彙分析及び解釈

鈴木 理枝

本発表の目的は、ハーデーとロレンスによる四篇の詩の文体的特質の類似点と相違点を分析することである。各々宗教詩と愛の詩を一篇ずつ選び、宗教詩は、ハーデー作 *The Imprecipient*、ロレンス作 *There are no gods*、愛の詩は、ハーデー作 *A Broken Appointment*、ロレンス作 *Gloire de Dijon* を取り上げ、文法に焦点をあて、時制、代名詞、叙法の分析をする。これらの分析の結果が、両者の詩の内容とどのように結びついているか、又二人の詩人の主題にどのように関連しているかを調べてみる。更に文体の傾向を調べるために語彙に焦点をあて、インフォーマントテストを用い、語彙の形式的(formal)、非形式的な(informal)性質がどのように示され、反映されているかを比較検討する。

2. 教材のマルチメディア化の試み —— 語彙自習プログラムの開発

伊東 田恵

豊田工業大学では本年度より、英語教育にコンピュータを活用するため、情報処理センターのコンピュータを使用し、本格的なCAI (Computer Aided Instruction) による英語の授業をスタートさせることとなった。しかしCAI教材は、高価な上、まだ数も種類も少なく、担当する学生に適した教材を探すことはなかなか難しい。独自の教材の開発が有効であると思われるが、そのためには情報関係の専門家による全面的なバックアップを必要とする。

本発表では、発表者が学内で理系の教員と共同で開発した語彙自習プログラムを紹介し、個人ベースで行う英語教員によるCAI教材開発の可能性と問題点を探る。併せて、インターネット上の英語教育支援サイトや、ダウンロード可能な学習ソフトを紹介する。

◆第18回大会について

開催日：平成12年9月9日(土)・10日(日)

場所：盛岡大学 〒020-0183 岩手郡滝沢村滝沢字砂込 808

(大会会場の盛岡大学への直接コンタクトはご遠慮ください)

9月9日

研究発表<13:40-15:10>

1. 英文読解に対する日本人大学生の不安の研究 松村 優子 (京都橘女子大学)
2. ディベート教育による論理的・批判的思考の指導 木村 みどり (青山学院大学)

講演<15:20-17:00>

演題：見えないアメリカ
大島 良行 (専修大学教授)

9月10日

研究発表 <9:30-14:10>

1. 中国人からの手紙：ゴールドスミス『世界市民』の歴史的位置付け
橋本 順光 (東京大学大学院)
2. 感覚を表す英語表現とメタファー
赤堀 志子 (昭和女子大学)
3. マーク・トウェインの civilization 認識
佐野 潤一郎 (創価大学)

4. ホームコメディからの脱出

越智 敏之 (千葉工業大学)

5. 青少年の自己評価についての国際的調査

馬嶋 治男 (拓殖大学)

懇親会：9月9日6時30分。 場所：ホテル・メトロポリタン盛岡ニューウィング

当日会費：一般500円 学生300円

大会事務局：〒101-8310 千代田区神田駿河台1-18-13 日大歯学部佐藤英語研究室

会員のお手元に、大会参加についてのアンケート（封書または電子メール）が届いている
ことと思いますが、万一、不達の場合は事務局までご連絡ください。

◆事務局からのお知らせ

◆会員の動き

新入会員

省略

住所変更

省略

◆本年度の例会と大会の予定は下記の通りです。場所等の詳細は会報ならびに学会ホームページに掲載します。

	第103回例会	第18回大会	第104回例会	第105回例会
例会・大会	6月10日	9月9・10日	11月18日	平成13年3月10日
発表申込締切	4月10日	4月10日	9月18日	平成13年1月10日

◆英米文化学会盛岡大会エクスカージョン計画

各コースとも最少催行人数は15人です。

A 田沢湖・角館コース 代金30,000円

9月10日(日) 盛岡 17:30 → 繋温泉泊

9月11日(月) 繋温泉 → 仙岩峠 → 田沢湖畔(遊覧船40分) → 角館(昼食) 武家屋敷・青柳家、伝承館見学 → 角館駅 15:05 → 仙岩峠 → 盛岡駅解散 16:30

B 花巻・遠野コース 代金32,000円

9月10日(日) 盛岡 17:30 → 東北道 → 花巻温泉泊

9月11日(月) 花巻温泉 9:30 → 宮沢賢治記念館・童話村 → 遠野(昼食) 伝承園・とおの昔話村見学 → 新花巻駅解散 16:00

C 北部陸中・龍泉洞コース 代金33,500円

9月10日(日) 盛岡 17:30 → 区界峠 → 宮古泊 19:30

9月11日(月) 宮古 9:00 → 浄土が浜(島めぐり遊覧船40分) → 小本 → 岩泉・龍泉洞(昼食) → 早坂高原 → 岩洞湖 → 盛岡駅 16:30

例会会場案内図



第103回例会会場日本大学歯学部3号館

英米文化学会会報 第43号 編集・発行：英米文化学会編集委員会＝池田 広子、小川 喜正、
岸山 睦、中村 豪、山根 正弘
発行責任者： 中村 豪 〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷2509-12 Tel 048-787-4693

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 Tel 03-3219-8160 ファックス 03-5204-8787

E-mail: shakey23@tky.3web.ne.jp 学会ホームページ <http://www.threeweb.ad.jp/~shakey23/>